

しのぶ草



平成 25 年 11 月 15 日発行

発行：宮崎市教育委員会文化財課

宮崎市きよたけ歴史館

所在地：宮崎市清武町加納甲 3378-1

TEL 0985-84-0234 FAX 0985-84-2634

《文化探訪バスツアー① 実施》

10月19日(土)に、文化探訪バスツアー①で佐土原町域の文化財などを見学して回りました。佐土原は、佐土原城の城下町です。特に、戦国大名として知られる伊東義祐の居城となってから、城郭と町が本格的に整備され、宮崎平野最大の政治・経済の中心地として江戸時代に至るまで大いに栄えました。明治3年(1870)、藩庁が佐土原から広瀬に移り、城や藩士の居宅の多くが破却されました。そのため、旧城下に武家屋敷などはほとんど残っていませんが、寺社や史跡等に城下町の面影が残っています。

今回のバスツアーでは、^{こた}巨田神社、^{きのぼる}佐野原聖地、高月院、佐土原歴史資料館(鶴松館)、商家資料館、大光寺、天昌寺跡を訪れ、佐土原の



歴史にふれました。参加者の皆様からは、「いろいろな史跡を知ることができて本当によかったです。」「普段は見られない大光寺の^{きしもんじゅぼさつぞう}騎獅文殊菩薩像などを見られてありがたかったです。」などのお言葉をたくさんいただきました。参加者の皆様方、本当にありがとうございました。



文化探訪バスツアー②を、来年3月1日(土)に計画しています。参加者募集につきましては、後日、市広報「みやざき」などでお知らせします。

★ 講座等のご案内 ★

◆ 「歩こや 清武④」

日時：平成25年12月11日(水) 午前9時～正午
コース：黒坂方面を約7.5km ウォーキング

◇ 「宮崎三計塾⑤」

日時：平成25年12月22日(日) 午前10時～正午
講師：宮崎市教育委員会文化財課 井田 篤 主査

※お気軽にご参加ください



《宮崎の縄文遺跡紹介⑨》

清武川流域の拠点的縄文集落

清武川流域には縄文中期後半～晩期にかけての拠点的集落といわれるような大規模な集落跡がみられるようになります。清武川左岸のシラス台地上に清武上猪ノ原遺跡のある船引地区遺跡群があります。その北側には時屋地区遺跡群があつて、その中の上の原第1遺跡では中期後半の住居跡が29棟や多数の土坑が検出されています。その西隣にある上の原第2遺跡では中期末から後期にかけての住居跡44棟、土坑66基が検出されています。

時屋地区遺跡群から2kmほど清武川を下った先の西側の台地上には竹ノ内遺跡(清武インターチェンジ付近)があります。この遺跡からは後期の住居跡51棟、106基の土坑が検出され、土偶や軽石製の岩偶などの祭祀行為にかかわる遺物やヒスイ製の勾玉などの装身具も出土しています。

さらに川を6kmほど下り、現在宮崎大学のあつる清武川と加江田川とに挟まれた台地上には平畑遺跡が存在し、後期後半～晩期に



竹ノ内遺跡出土玉類(装身具)

かけての住居跡が67棟も検出されました。

このように清武川の中～下流域において、縄文中期後半～晩期にかけての拠点的集落が連綿とみられます。これらの遺跡からは大量の遺物が出土し、なかには精神性にかかわる遺物も見られることから、この時期には早期と同じように人口も増加して安定的な生活がおくれるようになってきたと考えられています。

(文責 秋成)